

はやしちょうかいのうちほぜんくみあい
林町会農地保全組合（松本市）

・組織の活動面積	A= 38.52 ha
・組織の構成員数	約 157 人

組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) ■
取組開始年度	平成26年～	平成26年～	平成26年～

構成員	林町会農家、同町会会員
-----	-------------

組織の概要

・松本市の東山部、美ヶ原の麓にあり、小笠原氏の築いた林城趾の麓で薄川の扇状地の南側に広がる水田地帯です。水田及びブドウ作りが中心の農村地域です。ほとんどが兼業農家であり、高齢化も進んで農地を維持していくのが、次第に困難になっている地域でもあります。また、構造改善を行って30年余が経ち、水路等の補修が必要になってきている時期でもあります。このような中で、平成26年度から保全組合を立ち上げ、水路や農道の修理等行っています。

《歴史ある林町会の農地を守ろう》

4月 せんげざらいの共同作業



4月 せんげざらいの共同作業



6月 第1回 水路の草刈り共同作業



9月 第2回 水路の草刈り共同作業



鹿柵の点検作業（通年）



点検と機能診断